

感染症の流行・発生状況について
2020年09週(02月24日～03月01日) 診断分

●2020年第9週の警報・注意報

警報	注意報
水痘(北部) A群溶血性レンサ球菌感染症(宮古2週、八重山3週)	水痘(沖縄県全体、中部2週、南部、宮古、八重山)

●2020年第9週全数報告について

<ul style="list-style-type: none"> ・結核(南部3件、中部2件) ・侵襲性インフルエンザ菌感染症(南部1件) ・侵襲性肺炎球菌感染症(中部7件) ・百日咳(中部3件) 	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

●現在、南部保健所では新型コロナウイルス感染症対応のため、各関係機関のHPのみの案内となります。ご了承下さい。

○地域保健課HP

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/index.html>

○「新型コロナウイルスに関するQ&A(一般向け)」(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

○「新型コロナウイルス感染症について」(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

<医療機関の皆様>

○コロナウイルスに関する解説及び中国で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に関連する情報(国立感染症研究所ホームページ)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

○「新型コロナウイルスに関するQ&A(医療機関・検査機関向け)」(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html

●水痘(水ぼうそう)について

南部保健所管内において注意報レベルとなりました。また、沖縄県全体においても注意報レベルとなっています。

水痘は水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染時にみられる急性の発疹性疾患です。発熱を伴うことも多く、全身に紅斑状丘疹、水疱、痂皮それぞれの段階の皮膚病変が混在するのが特徴です。皮膚の二次性細菌性感染、肺炎、髄膜炎、脳炎、小脳失調などが合併することがあります。大人になってから水痘に罹患すると重症になりやすいことが知られています。また、感染後終生にわたり、主として脊髄後根神経節(三叉神経節を含む知覚神経節)に潜伏感染し、加齢や免疫能低下などにより再活性化し、帯状疱疹を発症させます。

感染経路⇒空気、飛沫、接触感染で、感染力は極めて強い。

潜伏期間⇒約2週間程度(10～21日)

予防⇒ワクチンによる予防が可能です。定期接種は生後12～36ヶ月に至るまでの児を対象に3ヶ月以上(標準的には6～12ヶ月)の間隔をあけて水痘ワクチンを2回接種することが推奨されています。

感染症法での取り扱い⇒5類感染症定点把握疾患で、小児科定点医療機関から患者数が毎週報告されます。また、24時間以上の入院を要した水痘患者は全数届出対象となっています。

学校保健安全法での取り扱い⇒第2種感染症に定められており、保育所、幼稚園、学校への登園・登校はすべての発疹が痂皮化する(かさぶたとなる)まで停止となります。

2014年10月に水痘ワクチンが小児の定期接種に導入されたことで、患者報告数は大きく減少していますが、成人の入院例や、近年高齢化の進行から帯状疱疹患者の増加が示唆されています。感染予防に努めましょう。

○水痘とは(国立感染症研究所)

【<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/418-varicella-intro.html>】

●百日咳について

県内で百日咳の報告が増えています。

百日咳は百日咳菌によって発症し、激しい咳が長く続く疾患です。感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死に至ることもありますので注意が必要です。感染対策には予防接種が大変重要です。ワクチン対象者でまだ接種を受けていない場合は、早めに接種をご検討下さい。成人では一般的に軽症となりますが、菌の排出があり、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診して下さい。

医師は長引く咳をみたら百日咳の可能性を考え、疑わしい場合はLAMP法を含む遺伝子検査の提出を積極的にご検討下さい。

2018年1月1日から国内の百日咳サーベイランスはすべての医師が届出を行う5類全数把握対象疾患となりました。

学校保健安全法における取り扱いについては、特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とされている。

週報

関係者各位

事務連絡
令和2年3月6日
南部保健所
(TEL: 889-6591)

感染症の流行・発生状況について 2020年09週(02月24日～03月01日) 診断分

※定点医療機関とは、インフルエンザなど18の感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

警報

注意報

疾病名	定点区分	6週	7週	8週	9週	(定点あたり)	6週	7週	8週	9週	(定点あたり)
		2/9	2/16	2/23	3/1		2/9	2/16	2/23	3/1	
インフルエンザ	インフルエンザ	735	595	450	338	(5.83)	211	163	145	95	(6.79)
咽頭結膜熱	小児科	14	11	13	13	(0.38)	6	4	6	2	(0.25)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	97	84	103	86	(2.53)	40	20	22	13	(1.63)
感染性胃腸炎	小児科	144	117	94	92	(2.71)	23	25	22	34	(4.25)
水痘	小児科	24	38	21	36	(1.06)	7	11	5	8	(1.00)
手足口病	小児科	3	3	2	5	(0.15)	1	0	0	0	(0.00)
伝染性紅斑	小児科	5	2	0	3	(0.09)	2	0	0	1	(0.13)
突発性発疹	小児科	10	13	4	6	(0.18)	3	5	0	1	(0.13)
ヘルパンギーナ	小児科	3	1	3	13	(0.38)	1	1	1	3	(0.38)
流行性耳下腺炎	小児科	7	3	0	0	(0.00)	2	2	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	1	12	11	13	(1.44)	1	10	4	8	(2.67)
細菌性髄膜炎	基幹	0	2	1	1	(0.14)	0	2	1	1	(1.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	2	1	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	6	1	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミア肺炎(オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	5	0	3	2	(0.06)	1	0	0	1	(0.13)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	6	5	0	4	(0.57)	1	1	0	2	(2.00)

インフルエンザ発生動向(保健所別)

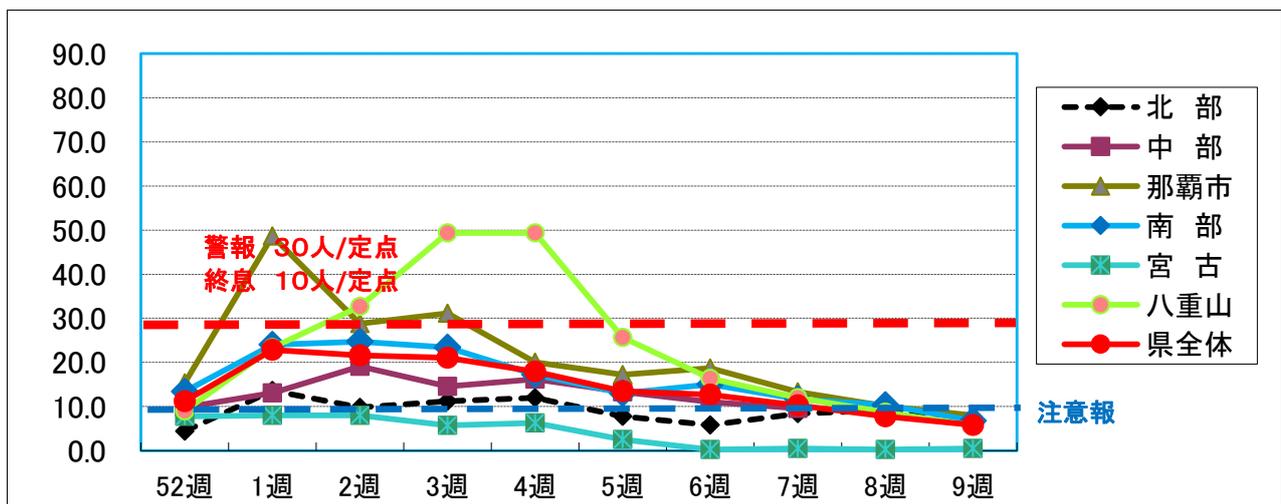
罹患数	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
北部	22	68	49	56	60	39	29	42	46	38
中部	196	261	382	291	324	267	221	192	111	90
那覇市	184	535	345	374	240	207	224	160	121	96
南部	188	336	346	328	241	182	211	163	145	95
宮古	31	32	32	23	25	10	1	2	1	2
八重山	27	70	98	148	148	77	49	36	26	17
県全体	648	1302	1252	1220	1038	782	735	595	450	338

定点あたり	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
北部	4.40	13.60	9.80	11.20	12.00	7.80	5.80	8.40	9.20	7.60
中部	9.80	13.05	19.10	14.55	16.20	13.35	11.05	9.60	5.55	4.50
那覇市	15.33	48.64	28.75	31.17	20.00	17.25	18.67	13.33	10.08	8.00
南部	13.43	24.00	24.71	23.43	17.21	13.00	15.07	11.64	10.36	6.79
宮古	7.75	8.00	8.00	5.75	6.25	2.50	0.25	0.50	0.25	0.50
八重山	9.00	23.33	32.67	49.33	49.33	25.67	16.33	12.00	8.67	5.67
県全体	11.17	22.84	21.59	21.03	17.90	13.48	12.67	10.26	7.76	5.83

警報 注意報	警報:なし 注意報:なし
-----------	-----------------

定点1医療機関当たり

(警報開始基準値(30.0)、注意報及び警報終息基準値(10.0))



型別	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
A	125	146	198	201	264	300	498	1037	1021	968	752	509	397	268	46	63
B	0	18	2	34	50	108	116	180	122	170	199	188	285	283	96	232
不明	24	23	23	22	17	19	34	85	109	82	87	85	53	44	3	43
計	149	187	223	257	331	427	648	1302	1252	1220	1038	782	735	595	145	338

* A・B併発で、型別合計と不突合となる場合があります。

定点あたり報告数(県全体・南部管内)

